





No.2967改

陽光の伊豆はやっぱり富士展望の山 金冠山・達磨山

実施日 2020年2月23日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、服部美千代、渋谷京子、遠井謙策、峯川弘子 計5名
 費用 JR4,620円(東京起算運賃)・伊豆箱根駿豆線1,040円・1,580円
 タイム 修善寺駅(9:08~2030)戸田峠(9:55~10:02)金冠山(10:20~25)戸田峠(10:36~40)小達磨山(10:23)達磨山(11:50~55)昼食休憩(12:10~30)伽藍山三角点(14:40)船原峠(14:10)大曲茶屋BS300手前(14:43修善寺駅(15:13~27三島(16:02)

今日は223で富士山の日にて制定されているそうだが、往復の車内からはもとよりコース中も吹き荒れる強風の助けで？それは見事な姿を最終眺めながらの歩行となった。強風に悩まされたものの富士山の日の良いイベントになったカナ？！



青い空が広がる戸田峠BSからは対面のトンネル脇から舗装の登山者と直下短い急登で金冠

山、風ッヨ！

強風で稜線から吹き上げる雪煙もハッキリ見せているそれは見事としか言えない様もないFujiの姿を拝む。

戸田峠に戻り、伊豆山稜トレイルとなっている達磨山への道に進む。右海側からの容赦なく吹き付ける冷たい風を受ける、但し稜線トレイルの本領発揮ですこぶる眺望の良い道だ。振り返ればドーンと富士、遥か下方に戸田の町と港と駿河湾が広がっている。

一登りで名前の小ピークの小達磨山、下って正面に見える笹原の山腹に切り開かれた登山道に向かう、一旦西伊豆スカ



イライン(車道)に出てから登りになるが、この達磨山への登りが今日最も強い風を受けの歩きになる、油断すると風に振られそうである。風にあおられながら辿り着いた達磨山はそれは見事な展望台の山頂なのだが・・・？その通り今日は長居は出ない、機会があればまたノンビリと眺望を楽しみたいと思わせる頂だった。ここまで人も



多かったが、この先へは我々だけの様だった。(長いし車道も多いし)

割と急な道を下って、背丈のある笹道の途中で風を避けて昼食にした。もうしばらく我慢できればそれなりの場所もあったが、何せ昼時だったので、まっイイカ！再び車道経てなだらかな道そしてまた車道にな




って暫くで僅か低くなった車道脇に伽藍山の導標が、なぜ??！

ここから登山道になり僅か50~60程進み右に獣道様の踏跡をかき分けると伽藍山の三角点があった。こぶし会も三角点探し好きだねー！

戻って下り道から車道歩きになり、二度ほどショートカットを交えて船原峠、車道が入り組んでさあどっち?!車道歩きも方角確認は大事だ!



県道(411)の車道を下るが、バイクリングの人気コースなのか?かっこつけてカーブを突っ込むバイクが多い、国道136に合流してBSまで300程手前で神対応のに(この路線はBSのみで乗降可)乗れて修善寺駅へ、ラッキー。

終盤は風も大分収まって223記念日に相応しい山行はお開きになった。

オツカレサマ!

久しぶりに山で冷たい風に吹かれたが、やっぱり穏やかな山がイイナ!

(記&写真・涌井 良明)